

主体的に進路を選択した高3生は、そうでない高3生に比べて「自立」度が高い

高3生の「自立」度を、「生活」「興味・勉強」「考えること・行動すること」「人との関係」「自分自身・将来」の5つの側面から測ったところ、女子は、男子に比べて、「生活」「興味・勉強」の得点が高い傾向にあった。また、通っている高校の学科別では、専門・総合学科の高3生は、普通科に比べて、「生活」の得点が高く、普通科の高3生は、専門・総合学科に比べて、「人との関係」「興味・勉強」の得点が高い傾向にあった。また、進路選択における主体性別でみると、「進路選択主体性・高群」は、「中群」・「低群」に比べて、どの項目の得点も高い。「自立」度が高い高3生は、進路選択を主体的に行っており、また、進路選択を主体的に行うことで「自立」度が高まっているのではないと思われる。

Q あなたは、ふだん、次のことをどれくらいしていますか(できていますか)。

図5-1 「自立」度(全体)

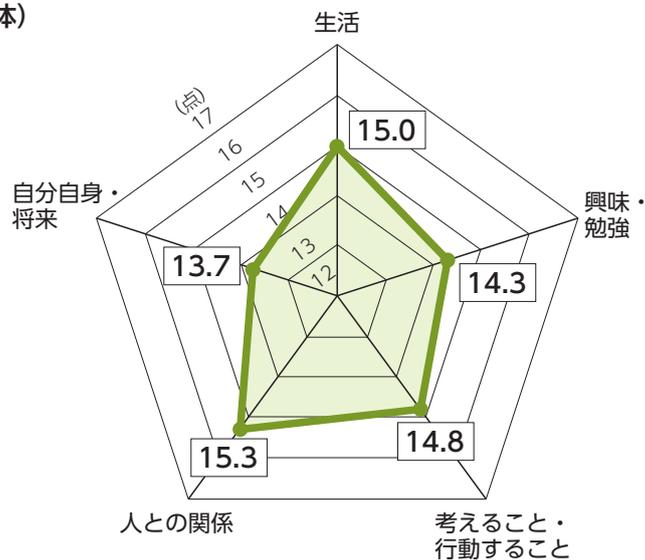


図5-2 「自立」度(性別)

① 男子(212名)

② 女子(266名)

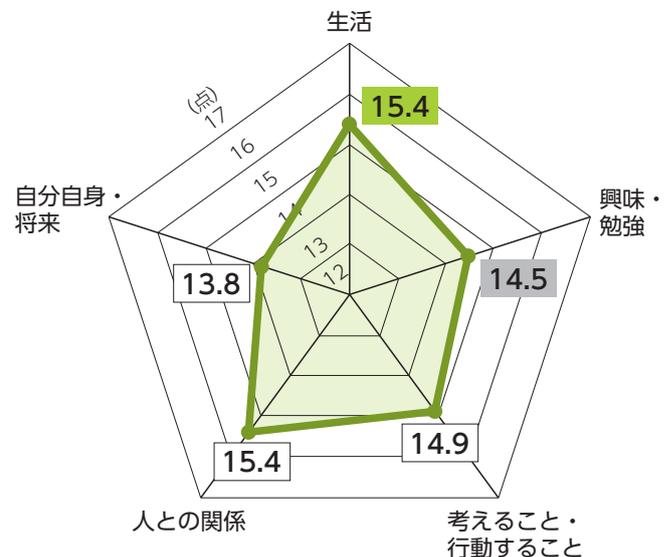
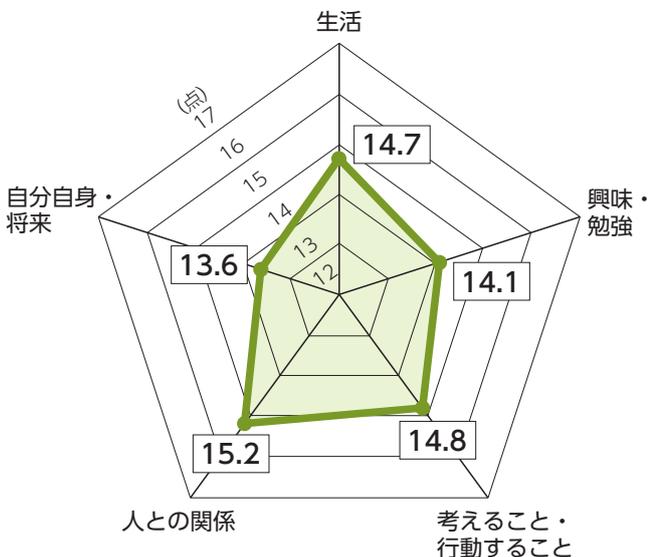
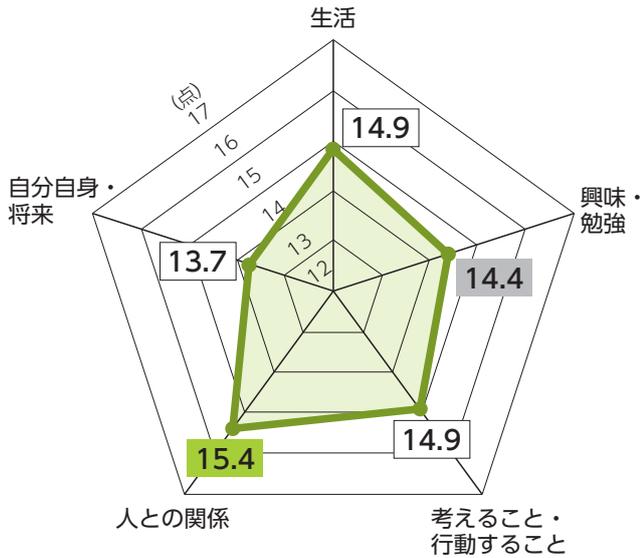


図5-3 「自立」度(学科別)

① 普通科(382名)



② 専門・総合学科(59名)

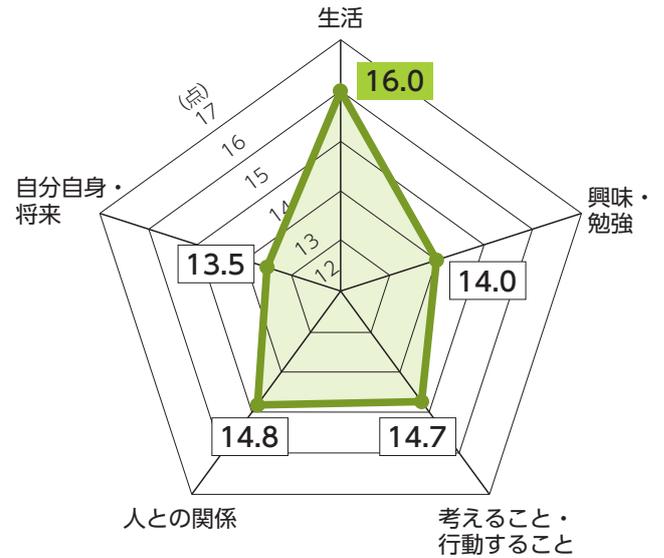
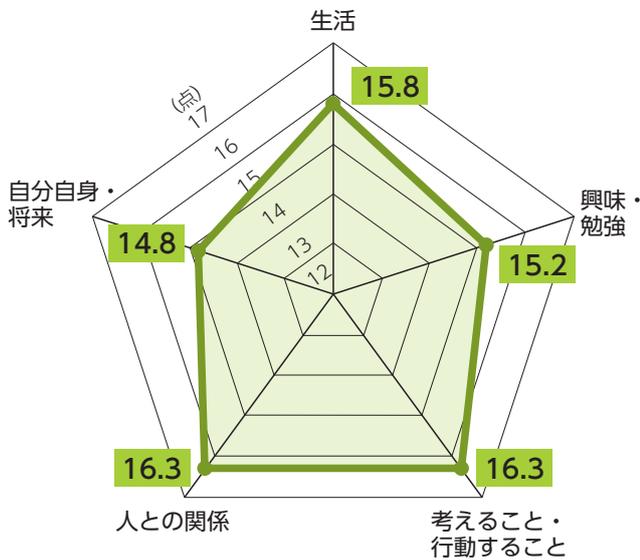
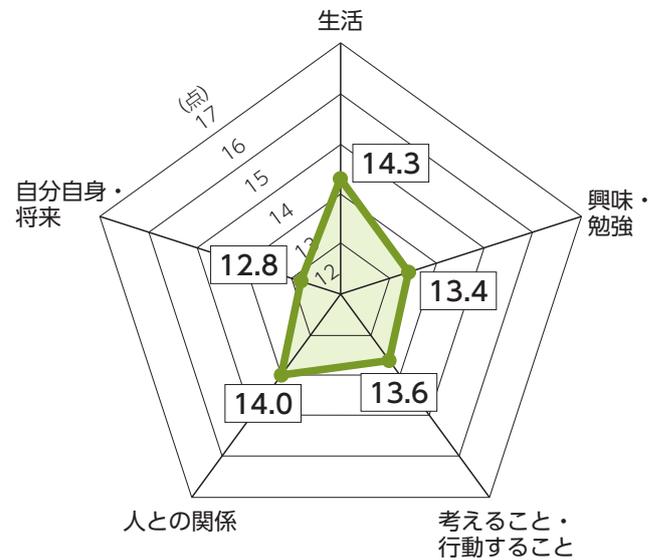


図5-4 「自立」度(進路選択における主体性別)

① 進路選択主体性・高群(129名)



② 進路選択主体性・低群(187名)



注1 高3生の「自立」度を、「A. 生活(決めた時間に起きること、整理整頓、お金のやりくりなど)」「B. 興味・勉強(興味を持ったことの深め方、勉強へのやる気、難しい問題への取り組み方など)」「C. 考えること・行動すること(自分の意見のまとめ方、自分のアイデアを出すこと、意思決定など)」「D. 人との関係(人の話を聞くこと、自分の意見を伝えること、他者と協力することなど)」「E. 自分自身・将来(新しいことへの挑戦、社会問題への関心、将来やりたいことなど)」の5つの側面から測った(各5項目、合計25項目)。数値は、各項目に、「1(できる・する)」～「4(できない・しない)」の4段階で回答してもらったものを逆転して得点化し(1～4点)、A～Eごとに合計して(5～20点)平均を出したものを(5「使っていない」を含む5段階で回答してもらった1項目は逆転して0～4点に得点化)。25項目のどれかが無回答のケースは除いている(図5-1～図5-4)。

注2 属性間で0.5点以上点数が高いものには数値に緑色のアミカケを、0.3点以上0.5点未満のものにはグレーのアミカケをしている(図5-2～図5-4)。

注3 「進路選択主体性・中群」の図表は省略している(図5-4)。